

第1回 DBJ 女性新ビジネスプランコンペティション

ファイナリスト 一覧

(発表順、敬称略)

今回のコンペティションでは、643件の多岐に渡る多数の応募が寄せられました。そのため、募集要項に記載の賞の他、今後の成長への挑戦を期待して、DBJより「震災復興特別賞」「未来にチャレンジ賞」、後援者である(株)日本経済新聞社より「日経特別賞」の計3賞を特別に表彰することといたしました。



小林 りん **日経特別賞**

東京都

**アジア太平洋地域のために、新たなフロンティアを創り出し変革を
起こせるリーダーを育てる。
日本初!全寮制インターナショナルハイスクール**

経団連からの全額奨学金をうけて、カナダの全寮制インターナショナルスクールに留学した経験を持つ。その原体験から、大学では開発経済を学び、前職では国連児童基金(UNICEF)のプログラムオフィサーとしてフィリピンに駐在、ストリートチルドレンの非公式教育に携わる。2007年に発起人代表の谷家衛氏と出会い、学校設立をライフワークとすることを決意、2008年8月に帰国。1993年国際バカロレアディプロマ資格取得、1998年東大経済学部卒、2005年スタンフォード大教育学部修士課程修了。
【公益財団法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢設立準備財団 代表理事】



牛来 千鶴 **DBJ女性起業優秀賞**

広島県

**起業家やクリエイターのための共同オフィス・モノづくり・人育ての
ビジネス拠点
～あったらいいな を カタチにする～ 「SO@R ビジネスポート」**

教科書出版社を結婚出産退職後、6年間の専業主婦業を経て企画会社に勤務。各種販促企画を手掛け1999年に独立。翌年「広島SOHO'クラブ」を設立し、2001年「広島SOHO'オフィス」開設。2002年「(有)SOHO総研」を設立し代表取締役就任。2009年 地元有力企業からの出資を受け増資し「(株)ソアラサービス」に社名変更。同年「広島SOHO'オフィス」を移転・拡張し、人肌感覚のクリエイティブ共同オフィス「SO@Rビジネスポート」をオープン。「広島に“あったらいいな”をカタチに」を理念に掲げ、人と企業を繋いで地域を元気にするプロジェクトを推進している。
【株式会社ソアラサービス 代表取締役】



ご本人の希望により
写真掲載はしていません

浅田 麻衣子

東京都

**～未来を変えるビデオ・エンコーダー～
高解像度、低コスト、低電力消費の実現**

11歳で株式投資を経験。世界で活躍したいと英語の勉強を始める。貿易会社転職後も、日本の不景気の原因を知るため早稲田大学政治経済学部へ26歳で入学。その後ダイヤモンドフィナンシャルリサーチの日本株アナリストに転身し、パークレイズ・キャピタル証券を経て独立、中小企業の資本提携や民事再生のサポートを行なう。2010年、NASAに技術提供をしていたジェイソン・ホーと出会い、日本の赤字企業に資金と技術とサポートポートフォリオを注入し、事業再生を行う提案を受ける。震災後、日本経済立て直しを目指し、レバロン株式会社の代表となる。
【レバロン株式会社 代表取締役】

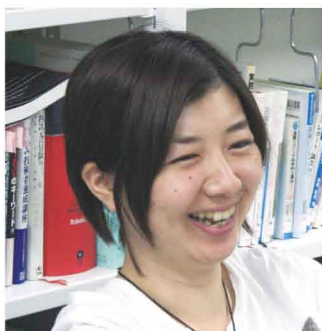


西浦 明子

東京都

**“もったいない”スペースをシェアする
日本初の遊休スペース流通市場の創造**

神奈川県生まれ。上智大学外国語学部卒業後、1991年ソニー(株)入社。海外営業部に所属。1994年ソニーチリに駐在、オーディオ製品などのマーケティングを担当。2000年、同社を退社後帰国。創業時のAll About Japanで広告営業を経たのち、2001年(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント入社。商品企画部にてプレイステーション2やPSPのローカライズ、商品開発などを担当。2006年同社を退社後、(財)日本国際協力システムで政府開発援助(ODA)関連の仕事に携わる。2007年、出産を機に同財団を退団。約半年の構想準備期間を経て、2008年4月に軒先.comを立ち上げる。
【軒先株式会社 代表取締役】



宇井 吉美

千葉県

**未来の介護をデザインする
尿検知シート 「Lifilm」**

在学中に医療現場、介護現場を支援するための機器、ロボット開発を目的とした学生プロジェクトabaを設立。在学中に製品化の目処が立ち、自らビジネス化することを決意、学生プロジェクトを法人化する。またその事業性、将来性が認められ、2011年10月に行われた千葉ビジネスコンテスト学生部門でグランプリを受賞。受賞を機に、フジサンケイビジネスアイ、朝日新聞千葉版、同東京版、千葉市フリーペーパーゆるり、日刊工業新聞、千葉市ケーブルテレビなどのメディアから取材を受ける。
【株式会社aba 代表取締役兼CEO】



加藤 百合子 DBJ女性起業大賞

静岡県

**持続可能な農業を目指して、畑から食卓まで、おいしいと安心を
人とITで高効率につなぐベジプロバイダー® 事業**

環境問題に興味を持ち東大農学部へ進学。食料危機に立ち向かうべく農業システムを研究、イギリスで修士号取得、アメリカでNASAのプロジェクトに参画。2000年帰国し、結婚を機に産業用機械の研究開発に従事。研究開発リーダーを務めたものの、子育てを通じて社会問題解決への意欲が再燃。農業の社会性の高さに改めて気づき、2009年エムスクエア・ラボを設立。2年度にわたる静岡県委託農業支援事業を経て、現在、同県農政審議会委員、同県研究評価会委員、農水省ボランティアプランナー。
【株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役】



光岡 真理

福岡県

**携帯型タブレット端末を活用した介護予防教室
みつおか式「脳若トレーニング法」事業展開**

学生時代は剣道一筋。2003年、子育て中に福岡県大野城市の公民館でパソコン教室を始める。シニア向けPC教室に特化し、生涯学習としての教室作りを追求。2009年法人化し、介護予防事業部を立ち上げる。受講者に飽きさせないプログラム「みつおか式 脳若トレーニング法」と称し、現在までに受講者は3000名を超える。高齢者が健康で長く生活できるサポートをする企業として、ITを絡めたコミュニケーション能力のある人材を育てるしくみ作りに着手。
【株式会社サムライト 代表取締役】



米良 はるか 未来にチャレンジ賞

東京都

**"実行者"を支援する日本初のクラウドファンディング
クリエイティブな活動、社会性の高い活動、夢の実現を支援してもらう
ためのプラットフォーム事業**

2012年慶應義塾大学メディアデザイン研究科修了。2010年スタンフォード大学へ留学し、帰国後、大学時代から関わっていたウェブベンチャー、オーマ株式会社にて取締役に就任。2011年3月日本初のクラウドファンディングサービスREADYFOR?の立ち上げを行い、NPOやクリエイターに対してネット上で資金調達を可能にする仕組みを提供している。World Economic Forumグローバルシェイパーズ2011に選出され、日本人史上最年少でスイスで行われたダボス会議に参加。
【オーマ株式会社 取締役 READY FOR?チーム】



鹿島 美織 震災復興特別賞

宮城県

**みんなでシェアしよう。
ぐるぐるバス、わいわい仕事・・・場と時間をシェアする仕組みとは?**

慶應義塾大学卒業。株式会社リクルート、RMCを経て2009年独立。株式会社アネモアを設立。現場でのニーズ調査やユーザの購買行動などのリサーチに基づき、商品提案からプロモーションまで一貫通貫して行う。主な仕事はユニバーサル・スタジオ・ジャパン®のリアブランディングや地域医療連携のレポートなど。2011年3月以降は、本業を続けつつ東日本大震災の支援に奔走。「ぐるぐる応援団」を設立し、移動サポートや仮設住宅での「団地ごはん」などをスタート。2012年4月石巻市役所1階にてコミュニティレストラン「いしのま★キッチン」をオープン。
【株式会社アネモア CEO】



及川 秀子 DBJ女性起業震災復興賞

宮城県

**気仙沼発 地域資源有効活用の最大化
地域資源を生かした新ファッションブランドの創設**

1971年宮城県歌津町名足にて珠算教室代表を経験の後、1981年4月に有限会社オイカワデニムの専務取締役、1991年1月30日には代表取締役社長に就任。現在、会社経営の他にも、内閣府日本中央防災会議委員、宮城県響高等学校評議委員、小泉地区婦人会会長、気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会長、リアスアクティブ21理事等、地域・防災関連組織において活動を行っている。
【有限会社オイカワデニム 代表取締役】